

平成 27 年度 議会事務事業評価結果表（平成 26 年度決算分）

委員会名	福祉環境常任委員会	委員長名	相良 大悟
事業名	福祉バス運行事業		
<p>本事業は、高齢者団体や障がい者団体等に対して社会参加のための外出支援、生きがいづくり及び福祉の増進を図るため、平成 3 年度から実施している。平成 26 年度末のバス利用割合は、高齢者団体が全体の約 8 割、障がい者団体が約 1 割、その他の団体が約 1 割となっている。</p>			

評価区分	人数	評価理由・要望・提案等
1：廃止	0名	
2：抜本的見直し	0名	
3：要改善	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの予約時において、福祉事業の目的に応じた申込みが優先される方法の検討 ・本事業を地域包括ケアシステムの一事業としての実施
4：現行通り	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの更新を含め、使い方等を検討しつつ、引き続き事業をしてもらいたい。
5：拡充	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・管財課所管バスの利用をあわせ、有効かつ効率的な運行の実施

審査の概要

本事業開始から 24 年が経過し、高齢者の増加や社会情勢も変化しているため、目的を考え直す必要があるのではないかと指摘があった。

委員間の討議においては、現状では障がい者団体が福祉バスの予約がとりにくく、利用しづらい状況であるという事例があげられ、福祉バスの使用状況及び用途を精査し、本来の目的に即した運用方法へ改善すべきであると多くの意見があった。

また、「要改善」では、『高齢者団体の日』や『障がい者団体の日』など、曜日を定めて優先的に予約ができるようにするなどの手法や、「拡充」では、安定的に事業を継続するため、一定の受益者負担の導入との意見が出された。